



イギリスでの忘れられない体験

セントラル・ランカシャー大学 (2024.9-2025.5)



鹿児島大学 法文学部4年 遠江理子

寮生活

寮について

・Ribble Hallという寮の中の女子専用フラット(6人で1フラット)

・キッチンとシャワールーム、トイレ(2つずつ)が共用

・コインランドリーが寮を出てすぐにある



大変だったこと

フラットメイトがハロウィンの日に友人を招いて騒いでいたり、それが原因で他のフラットメイトと喧嘩をしていたり、その翌日の朝キッチンに知らない男性が2人床に寝ていたなど...

文化やルールの異なる様々な国籍の学生と一緒に住むのは大変だった。

学校生活

授業について

・Study Overseas コース

・1日3時間主にイギリスの歴史や文化を学ぶ

・週に何回かTESOL(英語を母語としない人に英語を教えるための専門的な教授法や学問分野)の生徒と一緒に授業に参加してくれて、補助をしてくれた

印象深い授業

イギリスのクリスマスについて学んだ授業。その授業ではTESOLの生徒が自ら授業の準備をしてくれた。

ミンスパイを食べたり、クリスマスクラッカーを鳴らした。クラッカーの中には紙で出来た王冠と、クイズや格言の書かれた小さな紙が入っていた。

王冠をかぶりながら皆でクイズを出し合って、イギリスの伝統的なクリスマスを味わった。



私生活

～英国を感じた出来事3選～



オアシス熱唱

年越しカウントダウンを見にマンチェスターへ。
年越し10分ほど前からオアシスのDon't Look Back in Angerが流れ、私と友人を除いた、周りの皆が歌っていて、オアシスが国民に愛されているのを感じた。
また、年越しの瞬間には花火も上がり、日本の年越しとは違った雰囲気の中で年を越した。



電車が来ない!?

イギリスのバスに向かう途中、目的地の一駅前で電車が全線ストップ。
イギリスでは電車の遅延や運休がよく起こる。
その日はぎゅうぎゅうのバスに1時間ほど揺られ、なんとかたどり着くことが出来た。



本場のアフターヌーンティー

アフターヌーンティーを体験。イギリスではスコーンにクロテッドクリームとジャムをつけて食べるのが一般的だが、その順番にも論争がある。

英国文化を感じられるひとときになった。

